

赤塚一中生活だより

令和8年10月8日発行 No.6

板橋区立赤塚第一中学校
校長 杉山 晶恵

生活指導主任 佐藤隆道

国際防災の日

10月13日は「国際防災の日」です。国際防災の日とは、「世界全体で、自然災害の被害から命と健康と暮らしを守ることを考える日」として1989年に国連が制定しました。

近年、気候変動などの影響も受け、世界各地で自然災害が多発しています。日本でも、この夏、千葉県、東京都、石川県、富山県、青森県などで、豪雨が発生し道路が冠水したり、7月28日には、熊本県で震度7の地震が発生するなど多くの自然災害により被害が出ています。8月22日（土）に東京を襲った豪雨では、板橋区でも記録的短時間大雨情報が発表され、道路や建物の中で膝の高さまで冠水するような被害が発生しました。こうした災害は、保護者と一緒にいるときに起こるとは限りません。災害発生時にどのように行動したら良いか事前に確認し、自分の身を守る行動を取ることができるようにしておきましょう。

＜警戒レベルと防災気象情報＞

警戒レベル	とるべき行動
5	命の危険直ちに安全確保
4	危険な場所から全員避難
3	危険な場所から高齢者は避難
2	避難行動を確認
1	災害への心構え



＊気象庁「新たな防災気象情報について」参照

警戒レベル5では、すでに災害発生している可能性が高くなり、避難することが困難となる場合があります。警戒レベルが低いうちにどこに避難するのかを日頃から確認し、行動できるよう保護者と確認をしておきましょう。

少し考えてみよう

中学校は、毎日たくさんの人が集まり、学び、成長し、ときには悩みながら過ごす大切な場所です。教室や体育館、校庭、廊下、トイレ…これらは単なる建物や設備ではなく、みんなが安心して過ごし、仲間と出会い、未来へ向かう力を育てるための“環境”です。

この環境は、先生たちや地域の方たちが整え、守り続けてきたものです。先輩たちが使い、次の世代へ受け渡してきた来年は80年の歴史になる場所でもあります。だからこそ、今ここで学ぶ私たちが、この学校を丁寧に使い、次の仲間へとつないでいく責任があります。

ドアを静かに閉めること、机や椅子を大切に扱うこと、校庭をきれいに使うこと…それらは小さな行動ですが、学校を守る大きな力になります。

赤塚第一中学校は、みんなで育てていく“共同の家”のようなものです。

だからこそ、一人ひとりがこの場所を大切にしながら過ごしていきたいです。

